

<オンライン形式>義務教育学校設置に係る「保護者説明会」

日 時	： 令和4年1月21日(金) 10時00分 ~ 11時30分
	1月22日(土) 10時00分 ~ 11時30分
	1月26日(水) 10時00分 ~ 11時30分
	1月30日(日) 10時00分 ~ 11時30分
媒 体	： YouTube ライブ配信
参加者数	： 令和4年1月21日(金) 178名 ※ 最高同時視聴者数
	1月22日(土) 161名 ※ 最高同時視聴者数
	1月26日(水) 56名 ※ 最高同時視聴者数
	1月30日(日) 60名 ※ 最高同時視聴者数
事 務 局	： 管理部参事、教育政策室長、学事課長、学校施設課長、教育政策室副参事、 教育政策室長補佐、学校施設課長補佐、学事課学務係長、学校施設課計画係長
資 料	： 武蔵浦和駅周辺地区義務教育学校の設立について
次 第	： 1. 資料に基づき、事業概要を説明 2. 事前にいただいた御質問・御意見への回答 (2回目以降は、前回いただいた主な質問と回答を含む) 3. 当日いただいた御質問・御意見への回答
備 考	： 御質問・御意見の投稿方法として2通りを設定 (1) Microsoft Forms 投稿フォーム ※ 事前投稿(ただし、当日も投稿可能) (2) YouTube コメント機能 ※ 当日配信中のみ

以下、質疑応答の概要を記す

【事業計画全般】

- 検討経緯に関して、住民意見を収集・反映していないとの指摘をいただいた。現状においても過大規模校・大規模校が隣接していること、今後の児童生徒数の推計でさらなる増加が見込まれることから、早急に対策を講じる必要があり、計画決定までに地域住民への説明を行えなかったこと、今後は事業の進捗に応じて適宜説明会を開催し、意見の収集・反映に努めることを回答した。
- 児童生徒数の推計は今後の開発を考慮しているのかとの質問があり、現時点で判明しているものに限られるが、今後の開発状況についても考慮していることを回答した。また、長期的には児童生徒数の減少が見込まれるため、他の用途に転用可能な形での施設整備を検討していることを回答した。
- 事業手法について、なぜ他の手法、たとえば学校用地を取得しての新設校建設や通学区域の見直しなどを採用しなかったのか、との質問があった。通学区域の見直しでは対象範囲が広域となることから現実的ではないこと、新設校建設用地となりうる広大な土地の取得が困難であることから、市有地である沼影公園と沼影小学校の土地を一体的に活用した義務教育学校の建設が最適との判断に至ったことを回答した。
- 事業計画の白紙撤回や延期など、計画変更の可能性について質問があり、本計画の方向性については御了承いただき、詳細については皆様から御意見をいただきながら検討を進めていくことを回答した。

【通学区域】

- 通学区域の詳細や確定時期について多くの質問があり、現在は検討を進めている段階であり、直近の新設校である美園北小・美園南中の場合は、開校の3年ほど前から皆様との協議を行い、最終的な通学区域の決定は、開校の前々年度の1月だったことを回答した。

【児童生徒への影響】

- 義務教育学校の設置に伴う通学区域の見直しや義務4年生までの校舎が作られることにより、通学距離が長くなる、4年生までの登校班となる可能性があることへの不安の声が寄せられたため、子どもたちの安全を第一に、皆様の御意見を伺いながら検討を進めていくことを回答した。
- 沼影小学校の解体や内谷中学校の改修に伴う騒音等の在校生への影響について質問があり、授業をはじめとする学校生活に影響がないように配慮をしたうえで工事を進めることを回答した。

【情報公開・説明会】

- 説明会終了後にオンデマンド配信の期間を設けてほしいとの要望があり、令和4年3月31日まで限定公開を行った。
- 今後の説明会の予定について質問があり、事業の進捗に応じて適宜開催していくことを回答した。

【その他】

- 沼影公園の廃止や代替施設に関する要望については、所管部局へお伝えすることを回答した。

以上